



議会だより

# しらたか

12月定例会  
山形県白鷹町議会

Vol.153

2022年1月17日発行  
(令和4年)



## 「イヨッ うまい！」 白鷹中学校 芸術鑑賞教室

町民の生活向上と安心のために 令和3年度政策提言 ……	② p
2歳児以下も保育料無料に 議会12月定例会の概要 ……	④ p
特集 地域づくりの拠点に コミュニティセンターの改修 ……	⑥ p
ここが聞きたい 本会議一般質問 3人の議員が町政を問う ……	⑦ p
追跡レポート「防災情報の伝達手段」 ……	⑮ p
輝く地域の力「高玉芝居 高栄会」 ……	⑯ p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

# と安心のために

## 8 項目の政策提言



政策提言の全文は  
こちらから

政策提言とは、町政における課題の解決をはかるために、必要と思われる政策を町長に対し提案することを言います。

### 5. 飲食業や観光、宿泊業など事業所への支援

コロナ禍で飲食業や観光、宿泊業などが打撃を受け、地域経済への影響も懸念される。従業員を抱える事業所の状況把握に努め、引き続き支援策を検討すること。



### 6. 地域資源を活用した観光のあり方

地域資源を活かした今後の観光のあり方について、多様な観点で多くの方の意見を聞き検討すること。



### 7. 来年以降の米作付け支援

米価が下落している中、生産者が来年以降も作付けを継続できるよう、資金繰りの支援などを県やJAに働きかけること。また、米の消費拡大についても対応策を検討すること。



### 8. 鳥獣被害対策

狩猟者の高齢化が進んでいる。鳥獣被害対策実施隊員の確保や捕獲後の対処等を検討すること。併せて、人家近くまで現れるクマから子どもやお年寄りを守る対応を講ずること。

議長をはじめ5人の議員が、提言書の内容を丁寧に説明し、実現に向けた取り組みを強く要望しました。



# 町民の生活向上

令和3年11月25日、



本年度は新型コロナウイルス感染症による影響が大きい社会経済活動の建て直しや、喫緊<sup>きつ きん</sup>の課題の解決・対応等に特化して提言しました。本提言が来年度予算に具体的に反映されるよう望みます。

## 1. 地域活性化に向けた取り組みへの支援

コロナ禍の長期化で地域コミュニティの希薄化が心配される。コミュニティセンターを拠点とした活性化への取り組みに積極的な支援を。



## 2. 健康と福祉の里構想の多角的検討

町立病院と健康福祉センターが、将来にわたり町民の安心・安全、健康維持・増進の機能を持ち合わせた施設となるよう多角的に検討すること。

## 3. ICT利活用の推進

ICTの推進が、すべての年代の町民にとって、利便性の向上につながる取り組みになるよう努めること。



## 4. GIGAスクール構想によるタブレット端末等の活用

タブレット端末等の活用が、児童生徒一人一人に寄り添い、成熟度に合わせたきめ細やかな教育のもと、学力の向上に結び付くよう努めること。

## 12月定例会の概要

- ◇期 間 12月2日～10日（9日間）
- ◇内 容 補正予算5件、条例改正2件、契約案件4件、請願審査1件。  
全議案は原案のとおり可決しました。
- ◇一般質問
  - 金田 悟 議員 「令和3年産米価下落等に対する農家経済対策について」
  - 横山 和浩 議員 「まちづくり人材育成と、荒砥高校の存続に向けた取り組みの充実を」
  - 丸川 雅春 議員 「社会活動における懇親の場と今後の経済対策について」

## 条例改正

令和4年度から実施

# 2歳児以下も保育料無料に

白鷹町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正



### 条例改正の目的

白鷹町では人口減少及び少子化対策として、さまざまな子育て支援策を展開しているが、令和3年度の町全体における出生者数は40人を下回る見込みであり、出生者数の減少に歯止めがかからない状況にある。

このような状況において、子育て世代が仕事と子育てを両立でき、安心して出産・子育てができる環境をさらに整えるため、国における保育料無償化の対象となっていない2歳児以下の子どもの保育料を町独自に無償化するため、改正するもの。

### 賛成討論



小口尚司 議員

出生者数の減少に歯止めがかからず深刻な状況にあることを痛感している。

県内のほかの自治体に先駆けて保育料を完全に無償化することで、経済的な負担の軽減につながり、子育てするなら白鷹町と自信を持って町内外に発信できるものと思う。

子どもたちが健やかに成長していくことを大いに期待しながら賛成討論とする。  
※反対討論はありませんでした。

### 表紙

「イヨッうまい！」

白鷹中学校

芸術鑑賞教室

令和3年11月9日  
白鷹中の生徒が寄席や落語について学び、体験しました。

表紙は太鼓体験の様子です。傍らで三味線を弾いてもらい、仲間の前でミッキーマウスマーチを奏しました。

生で楽しむ落語はテレビとは違い、会場の空気を読みながらのもの。その楽しさに最後まで爆笑していた子どもたちは、家族に落語の楽しさを伝えたい、とまで言っていました。

芸術鑑賞教室は音楽と演劇に加え、今年度から古典芸能を加えるそうです。白鷹中学校の意欲的な取り組み、応援したいですね。

# 補正予算 主な質疑

であるが、今のところ考えていない。

**商工観光課長**

結果を見ての判断

**金田委員**

試掘調査で、満足のいく結果が得られなかった場合、新たな場所を選定し調査するののか。

**ふるさと森林公園  
試掘調査**

**横山委員**

PCB廃棄物は、適切に保管されていたか。

**PCB廃棄物**

**教育次長**

小中学校・旧庁舎などの高圧電源設備から排出され、旧鷹山小学校に施設等を行い厳重に保管している。

**3回目ワクチン接種**

**竹田委員**

3回目の接種は、ファイザー及びモデルナ製も使用するようであるが、その配分予定と周知方法は。

**健康福祉課長**

国から示されているのは、おおよそ半分の供給となる見通しである。

**出産支援給付金**

混乱が生じないように丁寧に告知していく。

**関委員**

給付金額・手続き及び周知方法は。

**健康福祉課長**

1名当たり5万8000円。12月末まで生まれたお子さんには1月に、それ以降に生まれたお子さんには町の出生祝い金交付手続きのときにと計画している。

## 請願審査

**採択**

国に対し、「国連で採択された核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書」の提出を求める請願

- 請願者 原水爆禁止西置賜協議会  
代表 青木 慶一
- 紹介議員 関 千鶴子
- 審査過程 \*付託委員会 総務厚生常任委員会  
\*委員長報告 採択すべきもの  
\*賛成討論及び反対討論 なし

賛成多数により、採択

意見書を提出

議会臨時会 12月21日

補正予算

**可決**

**10万円を一括給付**

子育て世帯への臨時特別給付を実施するための補正予算。子ども一人あたり

10万円を現金（口座振込）で一括給付する。中学生までの児童手当受給者には12月28日に振り込む。高校生の保護者などは申請が必要。児童手当の所得制限限度額を超える場合も町独自に給付する。

# 地域づくりの拠点に

### 改修 鮎貝地区コミュニティセンター



コミュニティセンター  
のホームページへ

#### ◎ 経過

整備後30年が経過し、指定避難所でもあるため、老朽化した施設の長寿命化に向けて、建物全体の状況を把握する調査を行いました。環境性能や省エネルギー、経済性に優れた設備の導入などを総合的に判断し、改修することになりました。

#### ◎ 改修する内容

空調設備の更新、多目的トイレの新設、電灯のLED化、水飲み場の改修など。

#### ◎ 契約金額と工期

契約金額は5588万円で、  
工期は令和4年3月25日まで。



モニュメントからは素敵なメロディが流れます

### 新築 鷹山地区コミュニティセンター



コミュニティセンター  
のホームページへ

#### ◎ 背景

鷹山防雪センターとして整備され40年。老朽化が著しく施設のリニューアルが必要になっています。また、1階には除雪機械の格納スペースがあり、主な集会は2階で行っているため、高齢者などには利用しにくい状況で、鷹山地区から整備の要望が出されていました。

#### ◎ 建設までの予定

令和3年12月から実施設計(施工するために必要な図面をつくる)、令和4年度に解体・建築・外構工事を行います。また、町が持つ31台の除雪機械の格納庫も作られます。両施設は、令和5年度から使用開始の予定です。

外観イメージ(予定)

基本構想

配置図(予定)



※変更される場合があります。

# 米価下落等に対する農家経済対策をどうする



録画を配信

## 町長 水稻種子の購入費用等に助成したい



金田 悟議員

白鷹町としての支援

問

米価下落による稲作農家への支援をどうするか。

町長

この苦境を乗り越え、来年度以降も継続して稲作に取り組んでいただければ、次期作に向けた水稻種子の購入費用・生産資材費用への助成を実施したいと考えている。

農林課長

支援策の制度設計については、近隣の市町の情報収集を行うなど、検討した結果、10アール当たり種子代千円、生産資材代千円、合計2千円の支援を実施したい。

生産者からの要望は

問

生産農家・生産団体とのような話し合いがなされたのか。

農林課長

農業委員会からの意見書の提出、稲作生産者と町長との懇談会を開催した。

登熟不足、いもち病の発生、そして概算金の下落となり、今後の経営に不安を抱いているとのことであった。多くの農家に支援が行き渡るようなものがある、次年度の再生産に向けた支援

が望ましいとの話があった。

※収入保険等の加入状況

問

農家収入をカバーすることができ収入保険及び※ナラシ対策の加入状況はどうなっているか。

農林課長

収入保険は13・5%で、県全体及び置賜と比較しても低い状況である。

また、ナラシ対策は認定農業者等が対象となり、加入者数は48件（57・8%）で、面積では302ヘクタール（39・4%）である。

問

収入保険の加入率が極端に低い。その理由をどのように把握しているか。

農林課長

基準収入が全額補償されないこと、補償内容を上げれば保険料が高くなることなどから、様子を見ている方が多いと聞いている。



町長

収入を補償する制度は複数あるが、もう少しわかりやすい保険制度にしていくべきと思うし、要望もしていきたい。

転作の重点作物振興

問

枝豆団地化計画の進捗状況はどうか。

農林課長

作付面積の拡大（42ヘクタール）と反収の向上は達成したが、販売単価の下落により、販売額1億円の達成には至らなかった。

問

次年度の生産調整を達成するため、枝豆の振興方針をどう考えるか。

農林課長

枝豆部会の会議で、販売額1億円を目指していくこととする。しかし、新たな拡大は慎重にならざるを得ないと思う。

町長

白鷹町の枝豆部会は相当努力なされてきたと認識し評価したい。コロナが落ち着けば、素晴らしいものになると思っている。

### ※「収入保険」

全ての農畜産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下など、農業者の経営努力では避けられないさまざまなリスクによる収入の減少を補償する制度。

### ※「ナラシ対策」

対象品目（米・麦・大豆）の販売収入の合計が、標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を国からの交付金と農業者の積立金で補てんする制度。

# まちづくり人材育成と 荒砥高校存続への取り組みを

町長 郷土愛の醸成も重要。荒砥高校存続に向けて手厚い支援を行う



録画を配信



横山和浩議員

## まちづくりへの関心

**問** 若者のまちづくりへの関心を高めるための取り組みについて、行政の関わりをどう考えているか。

**町長** これまでも支援を行ってきたが、幼少期からの郷土愛醸成も重要な要素。教育が担うところが大きい。まちづくりに参画する機会も重要であり、例えば小学生から高校生までが行政とまちづくりについて議論する場を設ければ、意欲を培うことにつながるのではないか。

令和4年度からの町

生涯学習振興計画を策定中であり、連携し協力して事業を展開したい。

地域課題の解決にコミュニティセンターは大きな力であり、議論し取り組んでいただければありがたい。

## 若者対象の取り組み

**問** 若者がチャレンジしやすいような取り組みは考えているか。

**企画政策課長** まちづくり助成事業、地域づくり推進交付金などがある。地域づくり交付金のソフト部分も各地域で検討。

令和4年度からの町

検証し活用していただきたい。

**問** 私は、しらたか夢未来発掘事業に応募し活動したことがあった。議員を目指そうと思ったのは、その時の経験があったからだと思う。成長や交流を促す導きがプログラムに含まれていたと思われるが、そういった取り組みで引き続き支援を頂きたい。

**企画政策課長** SNSの活用など、チャレンジへのアプローチも以前とは変わってきている。今の時代に合った支援や対応を検討する必要がある。

## 荒砥高校の存続

**問** 荒砥高校の単独校としての存続は。

**町長** 山形県が示す県立高校再編整備基本計画に、再編整備の在り方やその方向性が示されている。3年

令和4年度からの町

間をめぐりに学校の魅力化・活性化策を実施し、実施後も入学者に増加傾向が見られない場合は、設置主体を含めた学校の在り方について、地元市町と改めて協議するとされている。定員調整だけの対応には課題があり、お子さんの将来を考えてどうすべきか、という視点が必要と考える。

## 次の一手

**問** 荒砥高校の存続に向けた次の一手は何か。

**町長** 荒砥高等学校魅力化計画を策定し、入学者の確保に向けた取り組みを実施している。

より多くの入学者を確保するため、ICTを活用し

令和4年度からの町



絆も深まる修学旅行



荒砥高等学校ホームページへ

# 今後の経済対策をどう考えるか



録画を配信

町長 きめ細やかな対策を検討し、迅速に実施していく



丸川雅春議員

今後の経済対策は

**問** コロナ禍の中で、原油価格の高騰という新たな問題が出てきた。影響のある業種の把握をどうしているか。

**商工観光課長** 各種業界それぞれ

の企業を直接訪問し、現在の状況について聞き取りを行い、把握している。

**問** このような状況下で、今後の経済対策をどう考えているか。

**町長** 国の大型補正予算による施策の動向を注視し、町内の

経済情勢を踏まえたニーズを捉えることで、

きめ細やかな対策を検討し、迅速に実施してまいりたい。

**問** 経済関係機関との連携はどうしているか。

**商工観光課長** 商工会、町内金融

機関、ハローワークなどと、各企業の状況、雇用の状況などについて話し合い、四半期ごとに我々の考えを示せていただいている。

**業種要件の緩和を**

**問** 例えば、今後町で定額を給付する事業を展開する場合、

業種要件を緩和するた

めや平等性を見える化するため、売り上げの減少率を給付条件にする考えはないか。

**商工観光課長** 一つの手

段であると思われるが、業種によって売り上げの波が大きいことと、営業努力の差によって減少率が変わってくるのが課題になると思う。

**消費喚起対策を**

**問** 消費喚起を促すためにはプレミアム商品券事業や地域応援券事業が大変有効と思われる。今後の取り組みをどのように考えているか。

**商工観光課長** 類似した

国や県の事業において、換金などにおける各事業者の負担となる部分を整理し、同期間でなく、期間を置いた中で続けてやっていけることも念頭に置きながら対応し

ていく必要があると思う。

**町長** 国の大型補正予算の情報が入り

しだい、商工会と連携し、町内事業者に喜んでいただける、そして、消費に回るような形の準備を行っていきたい。

**社会活動における懇親の場**

**問** コロナ感染状況が落ち着いている今だからこそ、社会活動における懇親の部分について、誰もが開催しやすくする雰囲気を作っていくか。

**町長** 経済の活性化を

図る観点から、職員には徐々に会食などの再開を促している。引き続き感染防止対策を実施していただきながら、町内飲食店をご利用いただきたい。

**問** 町では共助社会づくりを進めていきたいとしており、地域での懇親の場がそ

の第一歩と思うがどう

**町長** 懇親の大切さは十分に理解でき

る。ただそれぞれの地域の流れ、年代間の認識の違いなど、その時々を状況を判断しながら行っていくべきものと思う。



**ワクチン・検査・パッケージ制度の活用**

**問** 町が主催する事業に活用する考えはあるか。

**商工観光課長** 接種した

方としな

総務厚生常任委員会 12月7日

# 具体的な計画を着実に実行すべき

白鷹町振興実施計画について説明を受けた。

## 【目的】

基本計画を受けて具体的に実施する事業の内容を示すもので、まちづくりを計画的かつ効果的に推進するために策定する。

## 【計画期間】

令和4年度から6年度までの3カ年。

## 【基本方針】

コンパクト・プラス・ネットワークを基本に、「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の4つの分野を施策の柱とする。

## 質疑

### 買い物環境支援

委員

買い物環境支援事業について、

今後どういう形で支援していくのか。

### 【当局】

移動販売の対応については、5年前から実証実験をしてきた。買い物難民の問題をどうしていくかは、喫緊の課題であり検討していきたい。

### 【委員】

東部工業団地整備の拡張整備について、現在新規参入希望の企業はあるのか。

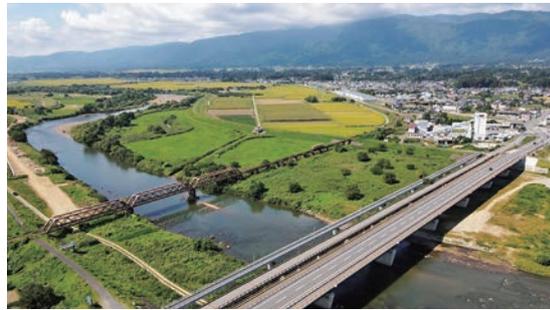
### 【当局】

これまではオーダーメイド型で来たが、相談に向けて用地を持つておく必要がある。

### 白鷹中学校整備

### 【委員】

白鷹中学校の体育館とグラウンドの整備についてどう



考えているのか。

### 【町長】

体育館は、床がささくれ立って危険な部分もあるため検討している。グラウンドは狭いが拡張できない。グラウンドからの雨水処理についてもこれから総合的に検討していきたい。

# 町民が利用しやすい交通手段は何か

町内循環バス等実証実験の実施状況について説明を受けた。

## 【概要】

令和3年7月1日より実証実験として実施した白鷹町立病院から公立置賜総合病院間(経由地なしの直行便)の町外延伸に加え、町内循環バス(荒砥・鮎貝)の運行を実施。運行日数は82日。

## 【利用実績】

### ①循環バス

\* 述べ利用人数 52件

\* 1日平均利用件数 0・63人

### ②町外延伸

\* 述べ利用人数 57件

\* 1日平均利用件数 0・70人

【考察及び今後の対応】

町内循環バス及び町外延伸とも、1日平均

均利用件数が1人を下回る状況であった。利用者には、バス停までの移動に負担を感じているようである。

町内の移動は現行のデマンドタクシーでカバーできると判断し、今後は現行のデマンドタクシーや町外延伸便の利便性を高めることを検討していく。

### 【当局】

デマンドタクシーをうまく活用していきたい。町外延伸についてはニーズにお応えするために、いろいろ検討している。続けていきたいが費用対効果もある。ぜひご意見をお寄せいただきたい。

## 質疑

### 延伸便の継続は

### 【委員】

公立置賜総合病院までの延伸便は、どの地区の方が多く利用されていたのか。

### 【当局】

多かったのは東根地区の方であった。

### 【委員】

継続的に実施していく方向でよいのか。



# 待ったなしの温暖化対策をどうする

白鷹町地球温暖化対策実行計画について説明を受けた。

## 【目的】

温室効果ガスのうち二酸化炭素を対象とし、排出量削減を行うための施策などに関する事項を定めるもの。

町民・事業者など関係機関の協力を得ながら、町一体となった持続可能なまちづくりと、豊かな自然を次の世代に引き継いでいくための地球温暖化防止への取り組み。

## 【計画の位置づけ】

第6次白鷹町総合計画や白鷹町環境基本計画などと整合性を図り、二酸化炭素排出量削減に関する施策や目標を示した計画とする。

## 【計画期間】

2022年度から2030年度までの9年間。

## 質疑

### 環境マイレージ導入は

**委員** 個人単位での取り組みについて、環境マイレージなども導入しながら町民にも努力いただいている例などもあるが、どう考えているか。

**当局** 参考にさせていただいていい。

美しい郷づくり推進会議でも話し合いながら進めたい。マイレージについても有効であるなら進めていきたい。

### 農業用水発電

**委員** 農業用水を活用した発電とあるが、具体的なことがあるのか。

**町長** 土地改良区に検討していただいた経過があるが、なかなか難しい。可能性は追及していきたい。



- その他の説明
- 第2期健康と福祉の里構想（中間報告）
  - 白鷹福祉会における旧白光園の跡地活用の検討状況
  - 白鷹町生涯学習振興計画
  - GIGAスクール（現地調査）

## 総務厚生常任委員協議会 11月24日

# 支援の拡充で入学者の確保は可能か

荒砥高等学校活性化事業の拡充について説明を受けた。

## 【現状】

学校説明会の参加者が例年の半数程度にとどまり、入学者の確保が厳しい状況。存続へ。スピード感をもって展開する必要がある。

## 【現行の事業内容】

- ① 新入生応援事業（10万円の応援券）
- ② 部活動強化対策（施設使用料支援）
- ③ 応援チラシなどの作成

## 【拡充する事業内容】

- ① オンライン教育コンテンツ導入支援事業
- ② デリバリー型学食の開設
- ③ 資格取得支援事業（自動車運転免許取得費用の支援）
- ④ スクールバス混乗
- ⑤ 修学旅行支援事業

## 質疑

### 県外募集は

**委員** 県外からの入学生を募集する仕組みがあるが、荒砥高校では取り入れられないのか。

**当局** 荒砥高校は県外募集を行わないと聞いている。県立高校なので、県の判断にお任せしたい。

### 免許取得補助

**委員** 免許取得補助について、来年度の入学生が免許を取得するときに対応するということが。

**当局** 来年度に入学生になった方が3年生になり、進学、就職が決まって免許を取得するときに支援するものである。



**委員** 補助率はどのようになっているか。

**当局** 取得費用の3分の1、町内に就職または住まれる方には2分の1と考えている。

- その他の説明
- 鷹山地区コミュニティセンター整備事業
  - 保育料の無償化に向けた取り組み

産業建設常任委員会 12月8日

# 持続可能な森林づくりを

白鷹町森林とつながる暮らしビジョンの策定について説明を受けた。

## 【推進の方向性】

### ●基本方針

「森林の多面的機能の発揮」

「森林・林業・木材産業の活性化」

「森林・林業の文化継承・森林学習を通じた郷土愛の醸成」

これらの達成のため、川上・川中・川下・総合的な対策の4分野で数値目標を設け、課題解決に向け施策を行っていくこととしている。

が、厳しい状況。インターンシップなどを行い、人材確保にあたりたい。

### 委員

人材確保にあり、林業と福祉の連携の考えはあるか。

### 副町長

環境を踏まえ、具体的にどういうことができるのか検討課題としている。

### 見える化を

ビジョンについて見える化をすべき。間伐や下草刈りなど身近に感じられるような情報発信や、木を生かしたモデルハウスが道路沿いにあるなどの総合的な推進が必要ではないか。

### 委員

まずは森林の境界明確化。一番

モデルハウスはこの

まちづくり複合施設であり、全国の方に見ていただき町の姿勢を知ってほしい。具体的に何を見える化していくか、緑の循環構想の中で森林組合などと一緒に進めていく。

山林に関わる人が高齢化し、自分の山を自分で守ることができなくなる中、森林学習をどう進めていくのか。

### 町長

小中学生を中心に、現場に行ったり、木工学習や町内杉材を使った技術家庭の学習を行ったりした。来年度以降も引き続き実施したい。



# 民間事業者との意見交換実施へ

サウンディング型市場調査の状況について説明を受けた。

## 【現状】

「ふるさと森林公園」や「伝統工芸の村」について、民間事業者との意見交換などを通し、専門的スキルのある「民間事業者」への指定管理の変更や再整備、収益が見込め経営が可能なかの調査を実施している。

11月15日から「サウンディング型市場調査」の参加事業者を募

集し、11月29日の「現地説明会・見学会」には県内外の11事業者から申し込みがあり、当日は7事業者が参加。残る4社は個別に対応。

12月中旬から1月中旬にかけて、参加事業者とのヒアリングを実施し、結果概要を公表する。

【今後の対応】

結果公表の時期はいつか。

2月中旬から3月中旬を予定している。

見学した事業者からの質問や反応はあったか。

修繕料の状況、部屋ごとの宿泊料金、暖房の燃料などについて質問があった。

ヒアリングの日程をどう考えているか。

具体的な日程はこれからであり、エントリーのあった業者と調整する。

その他の説明  
○住宅等の整備  
○都市計画用途地域の見直し



## 質疑

### 参加事業者の業種

見学参加11事業者の業種は何か。

宿泊業2社、コ

ンサルタント業

2社、指定管理で施設運営をしている2社、

サービス業2社、旅行業1社、不動産業1社、建設業1社であった。

### 委員

結果公表の時期はいつか。

2月中旬から3月中旬を予定している。

見学した事業者からの質問や反応はあったか。

修繕料の状況、部屋ごとの宿泊料金、暖房の燃料などについて質問があった。

ヒアリングの日程をどう考えているか。

具体的な日程はこれからであり、エントリーのあった業者と調整する。

その他の説明  
○住宅等の整備  
○都市計画用途地域の見直し

見学参加11事業者の業種は何か。

宿泊業2社、コ

ンサルタント業

2社、指定管理で施設運営をしている2社、

サービス業2社、旅行業1社、不動産業1社、建設業1社であった。

結果公表の時期はいつか。

2月中旬から3月中旬を予定している。

# 稲作経営の維持と安定に向けて支援

米価下落に対する支援について説明を受けた。

## 【概要】

令和3年産米の概算金が、「はえぬき」で1俵あたり2200円減など大幅な減額となり、収入減となる稲作農家の経営に大きな影響が出る。継続して稲作に取り組めるよう、次期に必要な種子代や、肥料など生産資材にかかる経費を支援する。また、利子補給を実施し、経営の維持安定を図る。

## 【白鷹産米次期作支援事業】

### ●対象者

町内の稲作販売農家（個人、団体、法人）

### ●補助単価

2千円／10アール

### 内訳

種子代千円

生産資材千円

### ●要件

- ・次期作に取り組むこと。
- ・令和3年産米の作付けを行っていること。
- ・生産調整に協力すること。
- ・「とも補償制度」に加入すること。

## 【米価下落対策利子補給】

### ●対象者

令和3年産米の生産調整に協力している者。

### ●利子補給

県66・5%、町33・5%相当を負担。

## 質疑

### 対象者数は何人か

支援事業の対象者数は何人か。489件を見込んでいる。

### 委員

### 当局

その他の説明  
○ふるさと森林公園再整備の状況  
○除雪機械格納庫整備事業



### 委員

他者の名義の農地を作る場合も該当するのか。

### 当局

そこも含めて支援させていただきます。

# 3回目のワフチン接種へ

11月24日開催

## ◎新型コロナウイルス ワフチン接種事業等について

- ・接種状況
- ・11月9日現在12歳以上90・3%、高齢者92・6%
- ・追加接種（3回目）

令和4年1月19日から高齢者予約分より開始。以降、前回同様が高齢者の地区ごとに接種。

## ◎灯油等購入助成

町民税非課税で高齢者のみの世帯など706世帯に1世帯6千円の助成。

## ◎出産支援給付金

新生児1人あたり5万8千円の給付。

## ◎ふるさと納税返礼品への影響は

ふるさと納税返礼品への影響はどうか。

令和2年度は7割、今年度は5割の方にお仕立券を指定していただいている。使用期限はないので、近くの店舗で利用できる。従業員の再就職は会社で責任を持つとのことだが、町としての考えはあるか。相談があれば承りたい。

令和2年度は7割、今年度は5割の方にお仕立券を指定していただいている。使用期限はないので、近くの店舗で利用できる。従業員の再就職は会社で責任を持つとのことだが、町としての考えはあるか。相談があれば承りたい。

令和2年度は7割、今年度は5割の方にお仕立券を指定していただいている。使用期限はないので、近くの店舗で利用できる。従業員の再就職は会社で責任を持つとのことだが、町としての考えはあるか。相談があれば承りたい。

令和2年度は7割、今年度は5割の方にお仕立券を指定していただいている。使用期限はないので、近くの店舗で利用できる。従業員の再就職は会社で責任を持つとのことだが、町としての考えはあるか。相談があれば承りたい。

令和2年度は7割、今年度は5割の方にお仕立券を指定していただいている。使用期限はないので、近くの店舗で利用できる。従業員の再就職は会社で責任を持つとのことだが、町としての考えはあるか。相談があれば承りたい。

令和2年度は7割、今年度は5割の方にお仕立券を指定していただいている。使用期限はないので、近くの店舗で利用できる。従業員の再就職は会社で責任を持つとのことだが、町としての考えはあるか。相談があれば承りたい。

令和2年度は7割、今年度は5割の方にお仕立券を指定していただいている。使用期限はないので、近くの店舗で利用できる。従業員の再就職は会社で責任を持つとのことだが、町としての考えはあるか。相談があれば承りたい。

令和2年度は7割、今年度は5割の方にお仕立券を指定していただいている。使用期限はないので、近くの店舗で利用できる。従業員の再就職は会社で責任を持つとのことだが、町としての考えはあるか。相談があれば承りたい。

# 花菱白鷹工場閉鎖

12月2日開催

## ◎花菱縫製株式会社白鷹工場の閉鎖について

- ・新型コロナウイルス感染症による影響の長期化などにより、1月20日をもって閉鎖する。

# 課税誤り

12月10日開催

## ◎相続未了資産にかか

- ・内容
- ・相続で納税義務者を継承した方に、本来は相続資産と個人資産を分けて課税すべきところを、合算して課税していた。
- ・返還対象者1503人
- ・対象年度平成21年度より
- ・返還金額（計）1323万9千円
- ・返還期間令和4年度に対応予定



# 知れば得する“ぎかい”のキホン

## 第10回

# 議員の身分

今回は、わたしたち議員の身分について見てみましょう。

### ●議員の地位

わたしたち議員は、町民の皆様からの直接選挙で選ばれて初めて地位を得ます。特別職の公務員となります。任期は4年です。

### ●兼職の禁止

議員は主に次のような職を兼ねることができません。

- ・国会議員
- ・他地方公共団体議員



- ・知事、市区町村長
- ・地方公共団体職員
- ・裁判官
- ・選挙管理委員
- ・行政委員会関係
- （教育委員会委員等）
- ・固定資産評価委員
- など

が、白鷹町では4月末が任期満了のため、4月中に当選しても5月1日から議員となります。身分を失う場合は主に次のとおりです。

### ●兼業の禁止

不正を防ぎ、住民の疑念や不信を招かないよう兼業を禁止しています。例えば、白鷹町の工事などの請負をすること、また請負をする法人の役員などを兼ねることが禁止されています。

- ・任期満了
- ・議員辞職
- ・死亡
- ・除名
- ・被選挙権の喪失
- ・兼職を禁止された職への就職
- ・兼業禁止規定への抵触
- ・選挙または当選の無効の確定
- など

### ●身分を得るとき失うとき

原則として当選した日から議員となります。

### ●議員の権限（権利）

議員の権限は、会議における権限と会議外における権限に分かれます。

- 会議における権限
- ・動議の提出権
- ・質疑、質問、討論の発言権
- ・賛成、反対を表示できる表決権
- など

- ・委員就任の義務
- ・懲罰に服する義務
- など

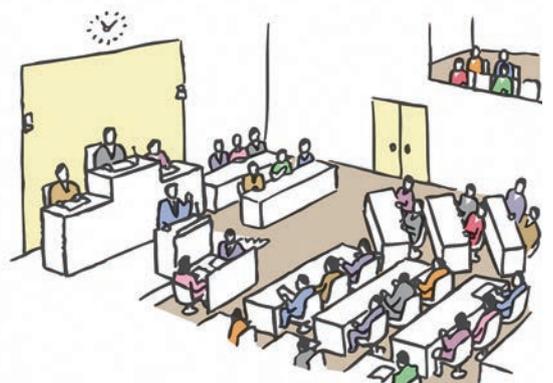
### ●懲罰

正当な理由なく会議に欠席した場合や、会議中に暴言や誹謗中傷など秩序維持や品位保持に反する言動をした場合など、次のような懲罰を科せられることがあります。

- 会議外における権限
- ・臨時会の招集請求権
- ・本会議の開議請求権
- ・議案提出権
- ・請願の紹介権
- など

### ●議員の義務

- 主に次のような義務があります。
- ・招集に応じ会議に出席する義務
- ・規律を守る義務
- ・公開の議場における陳謝
- ・一定期間の出席停止
- ・除名



# 追跡 レポート

## — あの質問のゆくえ — 防災情報の伝達は

○屋外の防災無線は聞き取りにくく不安であるとの声を聞くことがある。防災ラジオの導入予定はあるか。  
○各指定避難所へのWi-Fi導入についても検討いただきたい。  
(令和2年3月議会)

答  
弁

○携帯電話などをお持ちでない方には、防災ラジオや\*戸別受信機の導入も選択肢の一つと捉え、国などへ支援をお願いしている。  
○Wi-Fi導入は、関係者と協議し慎重に検討したい。

※「戸別受信機」とは……防災情報や緊急速報「エリアメール」などを自動音声で読み上げる機器です。現在、避難情報は、町内各所に設置している拡声スピーカー（Jアラート）で放送していますが、音が聞こえにくい場合があります。戸別受信機を家の中に置くことで、緊急時の放送内容をはっきり聞き取ることができます。  
携帯電話網を利用しておりますので、防災ラジオとは異なるものです。

どうなった

### 戸別受信機の導入予定

今年度、主に携帯電話などをお持ちでない方を対象として、戸別受信機を導入しました。単身高齢者世帯約600世帯へ希望調査を行い、そのうち希望する約150世帯へ配布（無料貸し出し）しております。さらに、各地域の自主防災組織と連携して、洪水避難区域や土砂災害避難区域などにお住まいの災害時要援護者で、単身高齢者世帯または高齢者のみの世帯へお声がけを行っているところです。

その後は、上記以外の高齢者世帯へも希望調査を行う予定です。

また、町では令和3年5月より情報配信サービス「アットインフォカナル」による防災情報の配信を開始しました。スマートフォンやタブレットをお持ちの方はぜひご登録ください。従来の携帯電話をお持ちの方は、引き続き「緊急メール配信サービス」をご利用ください。

### 指定避難所へのWi-Fi導入

多くの方の避難が想定される各地区コミュニティセンターと各小学校へのWi-Fi導入を完了しました。

【令和3年12月 総務課】



貸し出される「戸別受信機」

防災情報を得やすい環境が整った。情報配信サービス「アットインフォカナル」には情報の双方向性があり、その機能を生かした非常時の町民サービスにも期待する。

防災情報の  
登録方法

携帯電話の方  
「緊急メール配信」



スマートフォン・タブレットの方  
「アットインフォカナル」



ぜひ芝居を  
観に来てください。



児玉 敏 さん (高玉地区)

# 輝く地域の力 白鷹の未来を彩る

## 町指定無形文化財

## 高玉芝居 高栄会

… 地域の伝統芸能を守るために …

**高栄会**とは  
明治の頃、蚕桑地区の高玉には歌舞伎や浄瑠璃などもあったそうです。そうした高玉に伝わる芝居を通称で高玉芝居と言います。その高玉芝居を演じる団体が高栄会です。高玉が栄えるようにという意味が込められていて、今の座員は15人ほどです。

**高栄会**とは  
高栄会座長の児玉敏(嵐 千ノ助)さんにお話を伺いました。

**入座のきっかけ**  
昭和49年に21歳で入座しました。子どもの

頃はチャンネルが好いで、テレビで時代劇などをよく見ていました。

自宅隣の神社では秋祭りに必ず芝居が公演され、役者が持つ刀や、化粧の雰囲気は憧れました。芝居は遠いものではなく身近な存在であつたため、いつか舞台に上がりたいという気持ちで醸成されたのだと思います。ちなみに私の初舞台のセリフは親分に声を掛けられた時の返事「ハイ」だったんですよ。

**2年ぶりの公演**  
公演は約2年ぶりとなりました。コロナ禍なので掛け声も控えるようにという約束でした。お客様との駆け引きはできないものの、笑いや温かな拍手を頂きましたのでそれなりの反応があつたと思います。久しぶりなので私たちも不安でしたが、いざ幕が開くとすぐ役柄に感情移入ができ、お互いの呼吸も合

い、閉幕まで進んで安堵したのを覚えてます。

**芸名について**  
役者の芸名は、座長が考えます。女の子は本名を使う場合が多く、基本は市川姓です。それ以外では、嵐、若葉などの姓があります。

**今後は**  
一番考えていることはとにかく座員を増やすことです。メディアの普及により、若い方の目がそちらに向いています。このような中で若い方々には、とにかく昭和の香りがする高玉芝居を見ていただきたい。そしてぜひ入座を希望する方が現れたいと思っています。

入座の募集は随時行っていますので、高玉芝居に興味のある方は、蚕桑地区コミュニティセンターにご一報いただければ幸いです。



一新された緞帳 (どんちよう)

### 議会へひとこと

芸能を通してコロナ禍という消極的な雰囲気から笑顔を取り戻す、明るい気持ちになつてもらえるような役割を担いたいと思いますので、今後ご支援を頂ければと思います。

### 取材を終えて

地域づくりを一つの演目と捉えるならば、配役は地域の皆さん一人ひとりなのかもしれません。(丸川)

### 編集後記

明けましておめでとうございます。気象庁によれば、この冬はラニーニャ現象が続く見込みで、日本列島には、シベリアからの寒気が流れ込みやすくなり、寒い冬になる傾向が強いということ。寒いのが当たり前の冬、この先はどうなることやら。

さて本町では、新年度より0歳から2歳児の保育料が無償化となり、すべての年代の保育料無償化がスタートします。またひとつ子育て支援事業が増えました。県内の自治体では初めての事業ということなので、周知を徹底していただき、出生数はもちろん、結婚件数の拡大にもつながるよう望みます。(丸川)

### 広報委員

- 委員長 原 俊一
- 副委員長・編集長 金 田 悟
- 委員 丸 川 雅 春
- 委員 竹 田 雅 彦
- 委員 横 山 和 浩
- 印刷・長谷川印刷

